

今を未来に

5年生 自然教室「みんなで協力して、思い出になる楽しい自然教室にしよう」(目標)

この目標を胸に、10月9日・10日の2日間、5年生は自然教室に行ってきました。

1日目は、行程の半分かくらいの時間に雨が降り、キャンプファイヤーがキャンドルファイヤーになりました。でも、ハイキングは雨の中でも予定通りに実施しました。せっかく自然の中に来たわけですから、「雨」という自然に合わせて行動しようと考えました。宮妻峡に着いた時に本降りになり、食事は傘をさしながら食べるかなあと思っていたのですが、施設の方のご厚意で炊事場や建物の軒下を借りることができ、傘をささずにお弁当を食べることができました。そして、帰りはもみじ谷あたりで雨が上がり、少年自然の家に着くころには体がほかっと温まっているくらいで、その後も元気に過ごしてくれた子どもたちでした。



そして、入所式の後、子どもたちが一番気にしていたカヤック体験は、帰り道をもくもくと歩いたため、予定より30分ほど長く時間をとることができました。2人乗りなので、左の写真の子のように2人のパドルが揃わなければならないのですが、中には左右前後全く真逆になっているペアがあつて、本当に前にも後ろにも進まないペアがあつて、安全確認のため丘の上にいた私はちょっと笑ってしまいました。その頃写真を撮ろうと構

えている間にヒルに血を吸われてしまいました。

そして、夕食をおいしくいただき、キャンドルファイヤーでした。入場する前に、声を上げると館内が響くこともあつてか、ファイヤーを楽しみにしすぎたためか、大騒ぎ状態になってしまい、先生に叱られるまで静かになれなかったのは残念でした。でも、この子たちのいい所は、叱られたことに対し、悪かったと思うとその後の行動をきちんとしたいと思えるところだと思いました。その後のキャンドルファイヤーでも、お風呂でも、就寝時間前の過ごし方でも、大声でおこられる前に、「やめとこ。」「静かにしよ。」と言える姿がありました。



2日目は、男子は5:00ごろからごそごそし始めました。女子は約束通り6:00までは部屋から出ずに、行動がはじめられました。2日目は徐々に晴れ間が広がる天候でしたが、朝の集いの時刻は半そでシャツでは寒いくらいでした。ラジオ体操をして体も頭も目覚め、朝食後、すぐに飯盒炊飯にかかりました。ここでもさまざまな姿が見られました。家庭科や家での練習の成果を発揮

してくれる子、火の前から絶対に離れず顔を真っ赤にして火を上手に保ってくれた人、班の仲間に「これ手伝って。」と声をかけ、かけられた人も気持ちよく返事をして行動をしていた人、多くの



人は人任せにせず、自分たちでカレーライスを完成させようと頑張っていました。でも、その逆で、ちょっとした隙に遊びに行こうとしたり、遊んでいたり、特に片づけの時には最後まで協力できなくて、何度も先生方から「班で協力して片づけの合格をしよう。」と言われ続けていました。

また、片づけが終わった班から自然の家に戻ったのですが、建物の1階のトイレのス

リッパは女子80点、男子

0点でした。朝の集いでは大久保先生からほめてもらったのですが、言われ続けないとできない弱さも見せてくれました。普段からの行動の積み重ねがこの5年生の課題かなと感じました。

退所式の時、あっという間に過ぎた2日間の自然教室を振り返り、楽しい時を友だちと過ごせたことに感謝し、お互いに拍手をして、学校に戻ってきました。自然の家のスタッフはもちろん、バスの運転手さんも親切な方で、多くの人の協力があってやり遂げた自然教室であったことも、子どもたちはきっと気づいてくれていると思っています。



【お詫びと補足説明】

先日、学校からのすぐメールで「学校にお子様を迎えに来るときには、必ず職員玄関の階段のところに迎えにきてください。」と、教頭先生からメールをしてもらいました。また、その文の続きには、JAや幼稚園などの駐車場の利用を絶対に控えて欲しいという旨の文章が続いていました。

その後、このメールに対し、「今までもこのような指導がされていたか。」また「他の駐車場から苦情があったのですか。」「学校の西側の道が狭く、JAの駐車場の方が安全と考えて送迎させてもらってきました。先生方ともそのように確認をしていました。」という連絡をいただきました。電子メールで短文にしたため、意図が伝えきれていなかったことを反省しています。

まず、職員玄関の階段の所としたのは、本当は年度当初に職員の中では「お家の方の車を見ると走って駐車場まで行く子がいて危険なのでそうしよう。」と決めていた事なのですが、それが徹底されていなかったことと、保護者の皆様にきちんとお伝えできていなかったことを反省しています。

また、他の駐車場の関係者から苦情があったわけではありません。が、最近お迎えを頼っている子が増えていることから、この際他の駐車場の利用も控えていただければと伝えようと判断をしました。必要があって担任とも相談をしてお迎えをお願いしているおうちの方もありますが、担任にも知らせず、中には数人の友だちを乗せて帰られる方や途中にわが子を見ると車にのせていかれる方もあります。話し合いのないお迎えは控えて欲しい、お迎えは必要最小限にとどめて欲しい、という意図を主に、そのような文面でお伝えしてしまいました。意図がしっかりと伝わるメールの文を考え、お伝えしたいと考えています。

確かに学校の西側の道は狭いのですが、十分に気を付けていただき、送迎が必要な方が困らなくていいように、安易な送迎は控えていただくよう、ご協力ください。